

# 校報 かすがね

益田市立美都中学校 11月号

☎ 0856-52-2525 📠 0856-52-2191 ✉ mito\_j@masuda-school.ed.jp  
URL <http://www.iwami.or.jp/mito-chu/>

美都中学校は、公益財団法人JKAから  
平成26年度 **新世紀未来創造プロジェクト事業**の補助を受けています。

## 帰り花を見つけました

十月三十一日(金)の掃除の時間、調理室から道路側に出るガラス戸を開け、外を見てびっくりしました。なんとツツジの花が2輪咲いていたのです。そう帰り花です。

帰り花は、別名、返り花、二度咲、狂い咲とも呼ばれています。桜や梅のそれは、よく見る事があるのですが、ツツジは初めてです。

帰り花は、十一月の小春日和に時折見られる現象で、冬の季語になっています。芭蕉の俳句に

凧(こがらし)に匂ひやつけし帰花  
という句があります。

季節は着実に冬に向かっていきます。

## ものづくりを体験しました

十一月五日(水)の技術科の時間に、一年生がものづくりを体験しました。

講師は、島根県建築組合連合会技能士会から派遣された技能士さん二名と事務局の担当者一名の計三名でした。そのうち一名は、美都中学校の



OBということで、とても身近な存在に感じました。

十月から始まった一年生の技術科の授業では、体験教室のこの日までに、日本のものづくりの素晴らしさ、日本のものづくりの危機、道具の名前とノコギリの使い方などを学習していました。

そして迎えたこの日、生徒は講師さんの指導のもと、概ね三時間をかけて全員がミニ椅子を完成させました。(文化祭でも展示していました)  
ものづくりの素晴らしさ、楽しさを感じることができたかな。

木の年輪について説明をされる桑原さん  
「年輪を見ると、木の年齢が分かるし、方角も分かるんだよ!」



体験教室のお世話をしていた森広さん



カンナ削りの実演をされた河上さん 二川にお住まいの美都中OBでした!

# 文化祭が終わりました

十一月十五日(土)に、『継往開来く受け継ぐう美都文化、切り拓け次代のビジョン』のスローガンのもと文化祭を開催しました。その中で、昨年度と少し趣向を変えたものに文化体験があります。これまでは、地域ボランティアの方々に、生徒が色々体験をさせてもらっていました。

今年度は、生徒会の各委員会ごとに、事前に地域ボランティアの方々に体験内容を教わって、本番は、各委員会の生徒たちが、教わった内容で来場者をもてなすというものです。そのために、事前に一日ほど打合せの体験会を持ちました。

はじめての取組でしたので、少し心配していましたが、何とか無事に終了し、ホッとしているところです。

一方で、課題もいくつか見えてきましたので、来年度以降に活かしていきたいと思っています。



「遊び」体験では、竹とんぼを作りました。竹を薄く切るの難いですが、訪問者に上手く説明できたかな？！



## 文化体験

うずめ飯の由来と作り方について説明



うどんモミモミするのって、気持ちいいね！ Good feel!!



早く食べてえなあ！



「手芸」体験では、ブローチを作りました。細かい作業でしたが、納得のいく作品ができたかな



「ここは、こうするのよ。」  
「へえへ、何とかできる。」



「絵手紙」体験では、季節の野菜や果物をモチーフにします。みなさん、なかなか良い感じでできていましたヨ

年賀状は、絵手紙にチャレンジするのもいいですね



## 12月の行事予定

- 2日(火) デートDV講座(3年)
- 4日(木) 卒業・進級おめでとう会(春日峰学級)
- 5日(金) 真砂トンネル見学(午後 全校)
- 9日(火) 保護者懇談(~12日)、正月行事体験
- 16日(火) 薬物乱用防止教室(2年)
- 17日(水) 生徒会役員選挙
- 21日(日) しまね家庭の日
- 23日(火) 天皇誕生日
- 25日(木) 生徒総会、2学期終業式